



オーケストラと歌う “大地讃頌”

だいちさんしょう



平成元年、第1回すずむしコンサートは、中央公園の野外で開催されました。

それから25年、アエルで様々なチャレンジを重ねてきたフラウエンコール・菊川の演奏会。

今年は、オーケストラにのせて歌います。皆さんも一緒に歌いませんか？

2016年12月3日 **土** 開場/13:30
開演/14:00

入場料: 500円(税込)

会 場: 菊川文化会館アエル 大ホール

指揮/ 高橋俊之
管弦楽/ コレギウム・ムジクム静岡
合 唱/ フラウエンコール・菊川
シオーネ混声合唱団
ケセラダ・ファミリア合唱団



演奏曲目

- チャイコフスキー「くるみ割り人形」より
- サン・サーズン「動物の謝肉祭」より
- もしもピアノが弾けたなら
- オラトリオ「エリヤ」より 29番
- 大地讃頌
- オラトリオ「メサイヤ」よりハレルヤ
...ほか

※ここからは皆さんも一緒に歌いましょう。

- 青い山脈
- いつも菊川
- ふるさと
- 冬景色
- さよしこの夜
- 上を向いて歩こう

※演奏曲目は変更になる場合がございます

出演者プロフィール



高橋俊之(指揮者)

1968年生まれ。1979年より桐朋学園大学付属子供のための音楽教室、同高等学校を経て、1991年桐朋学園大学を卒業。同大学研究科、指揮教室を修了。指揮法を黒岩英臣氏をはじめ、飯守泰次郎、秋山和慶の各氏に師事。1991年桐朋学園大学オーケストラの一員として、ニューヨーク・カーネギーホール、仏・エヴィアン音楽祭に出演。1992年スイス・ルガーノでマスター・プレイヤーズ、1993年ウィーン・マイスター、1995年イタリア・オルヴィエートでレスピーギ音楽院の各指揮コースに参加。2009年からコレギウム・ムジクム静岡の指導にあたる。



コレギウム・ムジクム静岡

コレギウム・ムジクム静岡は、静岡市を中心に演奏活動を行う室内管弦楽団。団の前身は1986年に合唱団「静岡クリスチャン・コワイヤ」とヘンデルの「メサイア」を共演するために臨時編成の室内管弦楽団として発足したが、1995年に静岡県在住のアマチュア音楽家によって正式に結成された。静岡市での年に一度の演奏会を中心に、合唱団との共演も数多く、1999年にはザルツブルクからベルンハント・グフレラー氏を招いて特別演奏会を開催した。2004年と2009年にはザルツブルクを中心にヨーロッパ演奏旅行を実施した。2010年からは指揮者に高橋俊之氏を迎え、ソリスト・掛川出身の長尾春花氏らと共演するなど、室内オーケストラとしてゆるぎない活動をしている。

シオーネ混声合唱団

2004年に掛川市文化会館シオーネの「混声コーラス講座」としてスタート。講座終了後も合唱団として活動を継続。シオーネを拠点に古今東西の合唱曲を取り上げて練習を積んでいる。合音などの特別練習のほか、ボイストレーナーとして名高い大志万明子氏から発声の基礎指導を年数回受けている。団員は掛川市を中心に現在60名あまり。



ケセラダ・ファミリア合唱団

牧之原市にある研修所サンケセラの組織の中の混声合唱団として2006年に発足。中学生の頃の合唱音楽が忘れられず、その頃の曲から歌い始めた。「放立ちの日」「コスモス」から「Stand Alone」に至っている。月2回の練習だがレパートリーは28曲となる。20名だった団員も現在は10名となりケセラダ・サーカス(4人組のグループから)とも名乗っている。



フラウエンコール・菊川

1983年に8名の団員で発足。女声合唱の優雅で深みのあるハーモニーをめざしている。「菊川の街に、クラシックを広げたい」をモットーに親しみのある名曲を演奏している。アエルを拠点に「すずむしコンサート」を開催し、今年で26目になる。合唱交流として、海外ツアーをデンマーク、ウィーン、プラハなどで実施した。県民合唱祭には、更なる向上をめざし毎年参加。年4回、ボランティア活動として喜久の園を訪問している。

